



暑い夏を乗り越えて 実りの秋をむかえました



小学生の子ども2人と一緒に、人生初の稲刈りに参加しました。稲が台風の影響で倒れていましたが、右手に鎌を持ち左手で稲をひとつかみして刈っていくのはとても気持ちがよかったです。

子どもたちは田んぼで見つけたカエルを手の上にのせて遊んでいました。その後は松尾ジンギスカン本店で新米を食べながら生産者の皆さんと交流しました。子どもも感想を聞いたところ、「はじめて鎌で稲刈りをしてどうやってお米が収穫できるのかわかったし、ジンギスカンも美味しくとても楽しかった。いつも食べているお米は、作って収穫してくれる人がいるから食べられるのだと思った」とのことでした。



いっぱい食べよう！

生産者のとんぼの会 平澤さんに、稲の束ね方を教えてもらう設楽さん親子

〈東支部組合員 設楽 澄子〉

INDEX

2023 シャボン玉フォーラム in みやぎ
好きだっちゃせつけん! のぞいてみっべし東北の海 3

生活クラブ北海道の でんきキャンペーン 6~7
講演会 自然共生型再生可能エネルギーで脱炭素社会へ

2023 わくわくまつり
つなげよう!! 食から人の輪へ 4~5

生活クラブ Wind

組織 (10 月度)

組合員数 12,442 名
加入 51 名 脱退 51 名

共同購入 (11 月度)

利用高 2億 3,595 万 2,231 円
1 世帯当たり 18,964 円

グリーンシステム (10 月度)

Rびん	回収	16,849 本
	回収率	74.7 %
紙パック	売却金	7,470 円
	回収率	77.3 %
ピッキング袋	回収率	19.5 %

福祉基金 (10 月度)

賛同者数 2,985 名 賛同率 22.7 %

エコロ (10 月度)

加入者数 4,015 名
加入 6 名 脱退 16 名

生活クラブ共済 ハグくみ (9 月度)

加入件数 1,468 件

CO・OP 共済 (9 月度)

保有件数	たすけあい	3,978 件
	あいぶらす	1,888 件

電気の共同購入 (8 月)

〈供給契約者数〉 765 名

〈電源構成比 速報値〉

8月は、約 10 割の電力を再生可能エネルギー発電所からお届けしています。



組織委員会

早くも年末が近づいてきました。12月には全支部で臨時運営委員会を開き、今年度の振り返りをおこないます。拡大計画数や利用結集の目標に対して実際の動きがどうだったか、予算の執行状況から来年度の活動や予算についてなど、支部大会の議案書作成に向け、しっかり話し合います。

今年度は冬の活動として、新組合員歓迎会を計画している支部も多いと思います。加入した組合員に生活クラブの意義から消費材の使いこなしまで、早期にいろいろ分かってもらえること、その後の活動にもつながります。今年度、残りの活動も丁寧におこなっていきましょう。



消費委員会

約半年間のパンプロジェクトの活動が終了しました。保存版パンBOOKの作成、新規品開発とわくわくまつりでのアピール、そして組合員アンケートから班ロット注文廃止とたくさんの活動を行いました。支部を越えての交流をしながら、パンだけではなく消費材の優位性や背景などを学び、活動の大変さと楽しさを味わえる半年となりました。



道産小麦を100%使用し、極力添加物を使用しない生活クラブのパンをたくさん組合員がわかって食べることで国内自給率の向上をめざしましょう！



石けん運動委員会

わくわくまつりでは、エスケー石鹸(株)の生産者と石けんステーション「クラウン」メンバーが石けん運動委員会のブースを盛り上げ、販売や使い方の説明を行いました。

一般の歯磨き剤を溶いた水で育てたがいわれ大根はほとんど芽が出なかつたのに対し、消費材の「ハミガキ」では元気に育つた様子を展示。違いを実感してもらいました。また、くすんだ白い衣類を白く染める染料の一種「蛍光増白剤」配合の洗剤がブラックライトの紫外線で青白く光る様子を見てもらいながら、ガーゼやマスクには法律で使用する禁止のものが一般の洗剤に添加されていることを伝えました。



サステイナブル委員会

ただ今、でんきキャンペーン中です！消費材と同じように、顔の見える生産者から届く電気に変えませんか。



- ・工事不要、使い勝手・料金も大手電力会社と変わりません
- ・切り替え時、現在の電力会社への連絡不要
- ・電源構成の8割以上が再生可能エネルギー。2030年までに100%をめざします
- ・消費材同様、利益が出たら還元

つくり方や調達電源が明らかでサステイナブルな生活クラブのでんきを使って、原発のない未来を子どもたちに手渡ししましょう。

10月の理事会から

● 第十二次中期5年計画(2024〜2028年度)について、継続した審議を行いました。

● 2023年度の役員代行順位について、定款第28条5項に基づく決定を行いました。

● 2023年度上半期監査報告書が監事会より提出され承認しました。

● 10月9日(祝・月)に開催した2023年度わくわくまつりの振り返りを行いました。

● 「生活クラブまちづくり拠点」の申請書締め切り(11/14)と、11月理事会で審査決定することを確認しました。

● 労働環境改善の一環として、本部および各センターでの電話対応時間を9時から17時15分までにすると報告がありました。運用開始は12月1日からの予定です。

「好きだっちゃせっけん!のぞいてみっぺし東北の海」 ～ 3.11 震災後の海からのメッセージ～

全国で石けん運動を推進している生協や市民団体、漁協、生産者などが毎年一堂に介して活動の共有を図ってきたシャボン玉フォーラム。2018年には生活クラブ北海道が受け入れ団体となり、北海道でも行われました。中断やオンライン開催を余儀なくされたコロナ禍を経て、今年は4年ぶりに対面での開催となりました。参加した石けん運動委員と担当理事からフォーラムの様子を報告します。
(主催：せっけん運動ネットワーク 9/30)

水環境を守るために私たちができること

石けん運動委員 藤谷 綾子(西支部)

仙台市福祉プラザにて行われたフォーラムのオープニングは、「仙台すずめ踊り」でした。その後の基調講演では、水中写真家の鍵井靖章氏が「青い地球の生命の物語」と題し、震災1週間後から岩手県宮古湾に潜り続け撮影した数々の津波による被害写真とともに、徐々に再生する海のエピソードを話されました。鍵井さんが灰色の海の中で初めて見つけた魚は、体長20ミリのダンゴウオ。『ダンゴウオ～海の底から見た震災と再生』という鍵井さんの本でも語られています。



鍵井氏の写真パネル展示

その後は3つの団体が行い、重茂漁協女性部部長の盛合敏子さんが漁協の取り組み合成洗剤追放運動が47年目を迎えたこと、その成果を最も見ることができたのは震災時の憎くも美しい青い津波だったことなど、生業としている海について語られたのが心に残っています。



パネルディスカッションも行われました

環境を豊かにすることは全てに繋がります。「台所から社会を変えよう!」「被害者にも加害者にもならない生活を!」台所から海につながっているという事実を受けとめて、合成洗剤を使用しないことで私たち北海道の海も青くできるかもしれないと希望を感じました。

担当理事より

今回の舞台は、12年前に東日本大震災を経験した仙台市。受け入れ団体の生活協同組合あいコープみやぎからは、石けん環境委員会としての活動報告がありました。海岸でのプラスチックゴミ拾い、へちまのスポンジや布たわしづくりの実践、石けんで上靴を洗う子ども対象の夏休み企画、組合員が実践した石けんへの切り替えや利用状況を聞いて石けんの良さを伝える活動など、今後の私たちの活動に活かせる情報が盛りだくさんでした。

また、環境都市神奈川県藤沢市で活動するせっけん推進協議会の報告では、環境への負荷が少ない石けん利用への運動に理解を示す市からの助成金を活用して活動しており、市とともに石けん推進ができることは大きな力になるとのことでした。

半日のフォーラムでしたが、中身が濃く、さらに「会って話せる」充実感に満ち溢れた参加者の笑顔がそこにあり、石けん運動にかかる熱気が伝わりました。気負わず、でも粘り強く、石けんの良さを、そして何故石けんを使うのかをこれからも伝え続けていきたいと思える楽しい場でした。

最後に、あいコープみやぎの理事長から、25万筆もの署名を集めながらも東京電力福島第一原発のアルプス処理水放出を止められなかった悲痛な思いを聞き、



これからの地球、子どもたちの未来のために何ができるのかを一人ひとりが現実味を持って行動していく必要があると改めて思いました。

(石けん運動委員会担当理事 高橋香理)

まつり



よう!! 食から人の輪へ～

加しました。消費材の試食や販売をはじめ、生活クラブの活動
さんの組合員がスタッフとして来場者を迎えました。生産者に
れるまつりとなりました。 (10/9 京王プラザホテル札幌)



〜笑/

生産者 コーナー

消費材を手にも、生産者と来場者が語り合いました



(株)新生わたらい茶



日東珈琲(株)

水出しのお茶
すっきりしてて
とっても美味しい

試飲はもちろん、淹れ方の実演も行いました



とんぼの会 / (株)食創

食創の中谷さんが朝早く起きて
といだ新米の試食。量り売りも
大好評!

新米
おいし〜

揃いの法被で新米アピール!



生活クラブの牛乳大好き!
お手伝い頑張ったよ



札幌バルナバフーズ(株)



(有)小島米菓

様々な種類のお煎餅を試食できました!



あそび コーナー

木の砂場や射的など、幅広い年
齢の子どもたちが楽しみました

!!
消費



アスケー石鹸(株)

石けん

石けんの良さと使い方をアピール



文化

憲法クイズをしました



組織

イベントのおしらせや生活クラブを紹介



サステイナブル

Rびんのリユースについて説明





2023 つくる手 食べる手 その手はひとつ わくわく

～つな

4年ぶりに共生会、親生会合わせて22の生産者がまつりに参加し、紹介、組合員の手づくり品販売やあそびコーナーなど、たくさんの方と交流できるのを楽しみにしていた組合員も多く、活気と笑顔があふ

ステージ

消費材が当たる抽選会や生産者トークショーが行われました



消費材を作り続けていくために皆さんに食べ続けてほしい

提携や消費材について熱く深く語る生産者の話に、大きく頷きながら聞き入っていました



京田食品(株)

ステージでは、パンプロジェクトメンバーが新規パン発表を行いました!

バターたっぷりクロワッサン♪



コーミ(株)

私たちのおすすめ消費材は…全部

わくわく市

サークルや個人がハンドメイド品を販売



日本果実工業(株)

みかんジュースの試飲、ばら売りも大好評

山口県から参加しました!



(株)NSニッセイ

磯の香りたっぷりの炊き込みご飯を試食

来るとわかる 委員会コーナー

生活クラブの多彩な活動を紹介

なんとビックリ
実寸大

北海道に核のゴミはいりません! /

原発ゼロ・市民エネルギー



マウコピリカ宣言への参加を呼びかけました



消費委員長の力作! 平田牧場の豚さん顔はめパネ

わくわく市への出店料は「福島・栃木の子どものための保養活動」に寄付していただきました

自然共生型 再生可能エネルギーで 脱炭素社会へ

サステナブル委員会では『9月から11月は生活クラブ北海道のでんきキャンペーン!』を展開中です。生活クラブでんきへの加入者を増やす活動や、脱原発・脱炭素と再生可能エネルギーへの転換の加速を求める署名活動をおこなっています。今回、環境に配慮して、自然と共生しながらすすめる再生可能エネルギーによるエネルギー転換は可能なのかなど、生活クラブがすすめるでんきの未来を一緒に考える機会として講演会を開催しました。〈取材/敦賀〉



専門は環境社会学。環境保全についての社会的な摩擦や利害の対立をテーマに研究

講師：名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 ^{やすし}丸山 康司さん

再生可能エネルギーの 社会的受容性の現状



再生可能エネルギー(以下、再生エネ)が大量導入されたことにより、多数の太陽光と風力発電設備が分布するようになりました。それまでは、火力・水力の発電所が海岸や河川の脇といった特定の場所でありましたが、自然環境や社会的・経済的状况、考え方の違う人々が生活するところに広く分布するようになったのです。

ここで難しいのは、問題になる事柄によってステークホルダー(企業や組織の活動により影響を受ける利害関係者)が異なることです。自然環境であれば自然愛好家、生活環境なら地域住民といった、多数の多様な人々への対応が必要です。実際に、苦情や反対運動が増え、自治体の対応も変化しています。10年ほど前は普及促進を目的とした条例がほとんどでしたが、近年では規制的な条例が非常に増えています。

規制することの難しさ



規制が機能するためには、誰もが同じように判断できる必要があります。たとえば、物理的条件が似ているものに線引きをして、可・不可とする。しかし、規制によって問題が解決すれば簡単ですが、そもそも規制を導入するのが困難だったり、導入してもうまく機能しないことがあります。

4つの風力発電の実例です。A・Bは住宅から近く規模が小さい。C・Dは住宅から遠く規模が大きい。住民評価では、A・Cは支持され、B・Dは反対もしくは仕方がないという形で受容されています。理由は、評価する住民たちに利益があるかどうかです。Aは農家が冬場の稼ぎのため建てた個人所有の風車。Cは村営で、収益をインフラの整備に使い、発電した電気を地域で使う実験もしています。もしも距離で規制したらAが、規模で規制するとCが不可となりますが、住民への利益の有無により評価が変わるのです。

景観も、たびたび議論されます。台湾の高美湿地は、空が水面に映り込むことで有名な観光地で、洋上風力設備が建っています。グーグルで検索すると、風車も含めた景色を好んで撮影したと思われる写真が並びます。景観が変わることが、良い影響だと受け止められている印象です。

次に、鳥類に関してです。風車と鳥の衝突、バードストライクは実際に起きています。しかし、化石燃料をこのまま使い続けると、鳥類への影響はむしろ大きくなると予想されています。まず、気候変動によって生態系に大きなダメージを受けます。植生の変化により、動物も影響を受けるからです。鳥類の年間事故死数をエネルギー種別で比較すると、一番多いのは化石燃料。これは気候変動と燃料採掘によるものです。原子力発電も、ウランの採掘過程

程における生態系の攪乱がものすごく大きい。ですから自然保護という視点で見ても、化石燃料や原子力は支持できません。また、事故リスクの1位は窓ガラスで、風力発電は相対的に少ない。ただし、北海道のオジロワシなど特定の希少種では、1位か2位が風車への衝突です。特定の希少種への配慮は必要ですが、鳥全体としては再生エネだけが問題ではないということです。

音に関する環境省の調査によると、自然環境・沿道・乗り物・その他環境騒音(設備機械・工場等)と比較した風車周辺の音圧レベルは、同等かそれ以下でした。風車だけを規制する根拠がないということです。しかし感受性の違いもあるので、規制上は問題がなくても気のせいだと切り捨ててはいけません。というのが私の考えです。

あるレベルを超えると悪影響が出るものは、規制しやすですが、どのレベルでもそれなりに悪影響がある場合は難しい。たとえば、50%の人が不快に感じるレベルで規制したとしても、残りの人は合法的な被害を甘受することになるからです。

メリットや信頼感も解決策に



物理的影響を不愉快だと感じるのは、利益とのバランスで決まる場合があります。もちろん避けられるリスクは避けるべきですが、地域にメリットがあることも解決策になる。ただし、

何が利益で何が被害なのかは地域によって違うので、みんなが参加して決めるという手続きが重要です。

地域住民が関心のある「誰が何をなせようのか」の説明を飛ばして、事業者が「やる」と決めてから合意形成の手続きが始まるのが、これまで問題になってきました。それに対応しようと2021年に改正されたのが、地球温暖化対策推進法(温対法)です。

まず市町村で「ゾーニング」をして、場所を決めます。そして、どんな地域振興が可能か、たとえば脱炭素を通じて1次産業の燃料費負担を減らす方法など、地域の問題解決を考えて脱炭素に向けた戦略づくりを行います。その上でアセスメント(影響評価)を行います。単に影響の有無を議論するのではなく、協定書の作成や場合によっては共同事実確認をすることが重要です。そしてモニタリングをして、悪いことが起こっていたら手を打つ。あらかじめ対策を決めておく順応的管理が大事です。特に風力発電は事後対応できるものが多いので、渡り鳥への影響が問題であれば、飛ぶ季節や時間帯だけ止める。これを協定書に明文化しておくとか法的効力を持たせやすいです。

を感じる「騒音測定値は基準内で問題がないという自治体からの回答への不信感」などの声がありました。市には、協定の締結・ゾーニングの遵守・地域活性化に資する取り組みの推奨などを盛り込んだ条例があり、こういったことも解決策になると思います。

再エネをひろげるために



生活クラブがおこなっていることは、地産地消を広域展開している例だとみさせます。生活クラブでんきは生活クラブエンジニアという電力会社を通じて、再エネをみんなで使用しやすくなっている。波及効果がとても大きく、交流を通じて開発した特産品の販売利益は、年間で約1500万。風車による地元への経済的利益より大きなことが生み出されている、全国的にもモデルにすべきものです。

脱炭素社会へ向かうために何より大事なのは省エネや効率化です。それを踏まえた上で、再エネを導入する際に最も尊重すべきは地域での合意だと思います。リスクを最小化するだけではなく地域に便益をもたらすこと。お金だけではなく、いろいろな人の利益にかなう事業を増やすことが大事です。温暖化や脱原発だけでは、自分の地域になければいけないという理由になりません。災害時対応など、再エネがあつてほしいと思えるような良い例を増やしていくことが必要だと思います。

生活クラブ北海道の でんきキャンペーン!

生活クラブでんきに切り替えよう!

脱炭素をすすめるために家庭で最も簡単にCO₂排出量を減らす方法は、再生可能エネルギーをより多く利用できる電力会社へ切り替えることです。



生活クラブ
でんき

手続きは かんたん!

Webでも書類でも申し込めます。面倒な切り替え手続きはありません。

マンション・アパートでも切り替えできます

各家庭が電力会社と直接契約している場合は、集合住宅でも切り替えられます。



電気代は変わりません!

料金は北海道電力と同等額です。生活クラブでんきのホームページから料金シミュレーションができます。

オール電化住宅には!

オール電化住宅向けの「時間帯別プラン」は、北海道電力の「エネとくスマートプラン」と同じ料金設定です。

電気の安定性も今までと同じ

電力会社が変わっても、停電のリスクなど電気の安定性は変わりません。

署名活動 実施中!

脱原発、脱炭素と再生可能エネルギーへのエネルギー転換の加速を求める署名をオンラインでも受付中です。

※紙面・オンラインいずれか1回限り

オンライン署名はこちら



延長しました!

締め切りは 12月22日(金)

information

発行 生活クラブ生活協同組合 札幌市厚別区大谷地東一丁目4-15 TEL011(887)8891 FAX011(887)7226
発行日 2023年11月20日 編集 広報委員会/W・C・O・P・R・N・S・E・D・O

「こんなまちに暮らしたい!」

2024年度予算要望に向けて 札幌10区まとめの会

生活クラブ、ワーカーズ・コレクティブ、市民ネットワークで構成する各支部の地域連絡会メンバー等が集い、予算要望に向け各地域がおこなってきた活動を報告しました。「フリースクールに通う子ども自身への補助を」「永住権を持つ外国人も住民投票ができるように」「生活道路の歩道が凸凹、平らにしてほしい」など、アンケートやおしゃべりカフェなどで出された数々の声をもとに調査したことが報告され、それに対する代理人のアドバイスを共有しました。地下鉄案内表示の分かりづらさを数年にわたり調査活動してきた厚別からは、改善を求める要望書を札幌市に提出・意見交換したとの報告がありました。今後は各地域連絡会からの食・子ども・教育・環境・福祉・人権など多岐にわたる内容をまとめ、次年度の市の予算に反映されるよう11月22日に札幌市長に提出し、意見交換をしていきます。



10/22 北海道クリスチャンセンター

※政策を決定する場(議会)に私たちの声を届けるしくみとして市民ネットワークが誕生。市民の代理人(議員)を議会へ送り出しています

2023年度 生活クラブ福祉基金報告集会

日時 12月9日(土) 10:30~12:30
場所 TKP札幌駅カンファレンスセンター 2階ホール
(札幌市北区北7西2)

内容 福祉基金が生活クラブの福祉活動にどのように使われているのか、また2023年度福祉基金助成先団体の活動報告を行います。そのほか、7月に福祉施設を見学した運営委員長からの研修報告と組合員一斉討議の結果報告をします。この一斉討議「みんなで考えよう! 私たちがつくる福祉・たすけあい」の報告用紙は11月25日が締め切りなので、ぜひ提出してください。



【福祉基金創設の目的】

「地域の中で必要な福祉をもっと増やしたい!」国や自治体の福祉だけに頼らず、子育てや介護等しながら暮らしの中で発見したニーズを形にしたり、地域の人たちの福祉活動を応援するために創りました。



子育て支援親子ひろば ほっとたいむ

ニュース

11月3週

主催 福祉担当理事会

本ページに記載しているイベント等については、生活クラブニュースを見て、参加申し込みをしてください。

問合せ 生活クラブ本部 TEL 011(887)8891

<https://www.hokkaido-seikatsuclub.coop/>



ホームページからもアクセスできるよ



Instagram・Facebook もご覧ください!

つむじ風 エッセイ

猫のためにできることを一歩ずつ

江別支部 千葉なぎさ

幼少期、唯一知り得る猫の姿は、威嚇満点の野良猫のみ。その後犬を飼い始め、所謂『犬派』となった。そんな私になぜ、自他共に認める猫バカへと変貌を遂げたのか。字数の関係上その経緯は割愛するが、ひと言で述べるとしたら、こつ答える。「知らなかったから」

猫が携えた能力も魅力も、彼らがおかれている悲惨な現実も、私は何一つ知らなかった。「知る機会がなかった」と言い換えても、あながち間違いいではないだろう。知った後の生活は一変した。一人で野良猫を保護して里親を探したり、愛護団体のボランティアにも動んだ。しかし、一人で出来ることには限りがある。思い悩んでいた頃、ご縁があり「江別ねこ部」という生活クラブのサークルを立ち上げる運びとなった。今は心強い同志とともに、猫のためにできることを一歩ずつ進めている。知る機会があるのこつでないので価値観、ひいては人生をも変える。ペットとされる生きものの命の在り方について知る機会を、引き続き提供していく所存だ。

組合員のエッセイを募集します。4000字程度。テーマの指定はありません。本部川瀬まで、ファックスが業務便で送って下さい。



道産 環境材使用
道産簡伐材を配合した紙を使用しています